

ちょう 調 さ 査 ひょう 票

【記入に際してのお願い】

■この調査の対象者は、平成28年8月1日現在、県内にお住まいの40～64歳の方を対象として、主に、ご自身が高齢期になったときの生活意識などをお聞きするものです。

◎調査票の文字や内容が分かりにくいときは、説明しますので、電話してください。

ちょうさ ないよう などに かん と あ 調査の内容などに関するお問い合わせ

こうれいしゃとうせいかついしきちようさじむきょく

高齢者等生活意識調査事務局 【フリーダイヤル】0120-150-622

※受付時間：午前9時30分～午後5時30分（土・日・祝日を除く）

質問項目等の問い合わせに限らず、心身の状況により回答することが困難な場合なども、お気軽にご連絡ください。

※なお、次のような場合はご記入いただく必要はありませんので、下記に○をつけて、以降は回答せず、調査票をそのまま同封の返信用封筒でご返送ください。

- 1 県外に転居した
- 2 要支援・要介護認定を申請中もしくは認定済
- 3 事情により回答できず、代わりに回答できる人もいない

■この調査票は、あて名のご本人がご回答ください。ただし、ご本人が回答することが難しい場合は、代わりにご家族の方などが本人の立場に立ってお答えくださいますようご協力をお願いいたします。

■調査票にご回答いただきましたら、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、お近くのポストに投函してください。（切手は不要です。）

★★ 9月30日までにご投函ください ★★

【ここからご回答ください】

この調査票にご回答いただいた方は、どなたですか。（あてはまるもの1つに○）

1. あて名のご本人が回答（ご本人が回答して他の方が代筆した場合も含む）
2. ご家族がご本人の代わりに回答
3. ご家族以外の方がご本人の代わりに回答

★あなたご自身やご家族のことについておたずねします。

問1 あなたの性別をお答えください。(いずれか1つに○)

1. 男 2. 女

問2 あなたの生まれた年月、年齢をお答えください。(ご記入ください)

昭和 年 月生まれ (満 歳)

問3 あなたがお住まいの市町村をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

※田辺市、新宮市、紀の川市の場合は、合併前の旧市町村を回答してください。

- | | | |
|----------------------|----------------------------|----------|
| 1. 和歌山市 | 2. 海南市 | 3. 橋本市 |
| 4. 有田市 | 5. 御坊市 | |
| 6. 田辺市 (旧田辺市) | 7. 田辺市 (旧龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町) | |
| 8. 新宮市 (旧新宮市) | 9. 新宮市 (旧熊野川町) | |
| 10. 紀の川市 (旧打田町・貴志川町) | 11. 紀の川市 (旧粉河町・那賀町・桃山町) | |
| 12. 岩出市 | 13. 紀美野町 | |
| 14. かつらぎ町 | 15. 九度山町 | 16. 高野町 |
| 17. 湯浅町 | 18. 広川町 | 19. 有田川町 |
| 20. 美浜町 | 21. 日高町 | 22. 由良町 |
| 23. 印南町 | 24. みなべ町 | 25. 日高川町 |
| 26. 白浜町 | 27. 上富田町 | 28. すさみ町 |
| 29. 那智勝浦町 | 30. 太地町 | 31. 古座川町 |
| 32. 北山村 | 33. 串本町 | |

問4 あなたの世帯は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 単身 (ご本人ひとり) | 2. 夫婦のみ (配偶者は65歳以上) |
| 3. 夫婦のみ (配偶者は64歳以下) | 4. 2世代家族 (65歳以上の家族がいる) |
| 5. 2世代家族 (65歳以上の家族はいない) | 6. 3世代家族 |
| 7. 配偶者、親以外の高齢者 (65歳以上) と同居 | 8. その他 () |

問5 あなたは、収入のあるお仕事をされていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 会社や団体等の勤め人 (常勤) |
| 3. 会社や団体等の勤め人 (パート、嘱託等) | 4. 会社や団体等の役員 |
| 5. 自営業主、個人事業主 | 6. 短期・不定期のアルバイト等 |
| 7. 内職 | 8. その他 () |
| 9. 収入のある仕事はしていない | |

★^{こうれいき}高齢期^{*}になったときの^く暮らし^{かんが}についてのお考え^{かんが}などについておたずねします。

※^{つうじょう}通常、^{こうれいき}高齢期とは^{さいいじょう}65歳以上のことを指しますが、^{ねんれい}年齢にはこだわらず、^{じしん}ご自身が^{とし}年をとって^{こうれいしゃ}高齢者になったときと^{かんが}お考えください。

問6 あなたは、ご自身の^{こうれいき}高齢期の生活を考えたときに、^{とく}特にどのようなことに関心がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. ^{かぞく} 家族の ^{だん} 団らん・ ^{こうりゅう} 交流 | 2. ^{しん} 親せきとのつきあい |
| 3. ^{ゆうじん} 友人、 ^{ちじん} 知人、 ^{きんりん} 近隣とのつきあい | 4. ^す 住まい（ ^{たてもの} 建物の ^い 維持 ^じ 管理 ^{かんり} 、 ^{リフォーム} リフォームなど） |
| 5. ^{けんこう} 健康管理、 ^{けんこう} 健康づくり | 6. ^{ぼうさい} 防災（ ^{さいがい} 災害への ^{そな} 備え、 ^{ひなん} 避難や ^{れんらく} 連絡の方法など） |
| 7. ^{しょくじ} 食事、 ^{いんしょく} 飲食に関すること | 8. ^み 身だしなみ、 ^{おしゃれ} おしゃれや ^{びよう} 美容に関すること |
| 9. ^{しごと} 仕事、 ^{はたら} 働くこと | 10. ^{かじ} 家事（ ^{すいじ} 炊事、 ^{そうじ} 掃除、 ^{せんたく} 洗濯など家の中の仕事） |
| 11. ^{しゃかいほうし} 社会奉仕、 ^{かつどう} ボランティア活動 | 12. ^{ちいき} 地域の活動（ ^{じちかい} 自治会、 ^{ろうじん} 老人クラブなど） |
| 13. ^{しゅみ} 趣味の活動 | 14. ^{がくしゅう} 学習活動 |
| 15. ^{スポーツ} スポーツ活動 | 16. ^た その他（) |
| 17. ^{とく} 特にない | |

問7 あなたは、現在お住まいのところに^{こうれいき}高齢期も^す住み続けるとした場合に、^{ばあい}日常の^{にちじょう}買い物や^か外出などの^{もの}しやすさについてどのように^{おも}思いますか。(そう思うもの1つに○)

- | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. ^{げんざい} 現在でもかなり ^{ふべん} 不便であり、 ^{こうれい} 高齢になったらさらに ^{こま} 困ることになると思う |
| 2. ^{げんざい} 現在は特に ^{とく} 問題はないが、 ^{こうれい} 高齢になったら ^{こま} 困ることになると思う |
| 3. ^{こうれい} 高齢になっても特に ^{とく} 困ることはないと思う |
| 4. ^た その他（) |
| 5. ^{わから} わからない |

問8 あなたは、ご自身の^{こうれいき}高齢期の生活を考えたときに、^{なに}何か^{ふあん}不安を感じることなどはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. ^{かぞく} 家族や ^{しん} 親せきとの ^{にんげんかんけい} 人間関係について | 2. ^{ゆうじん} 友人や ^{ちじん} 知人、 ^{きんじよ} 近所の人との ^{にんげんかんけい} 人間関係について |
| 3. ^{はな} 話し ^{あいて} 相手がないこと | 4. ^{せいかつひ} 生活費について |
| 5. ^{じぶん} 自分の ^{かいご} 介護のことについて | 6. ^{じぶん} 自分の ^{けんこう} 健康や ^{びょうき} 病気について |
| 7. ^{どうきよ} 同居家族の ^{けんこう} 健康や ^{びょうき} 病気について | 8. ^{かぞく} 家族や ^{しん} 親せきに対する ^{たい} 介護 ^{かいご} について |
| 9. ^{つういん} 通院の ^{かいじょ} 介助や ^{しゅだん} 手段について | 10. ^{そうじ} 掃除や ^{せんたく} 洗濯などの ^{にちじょう} 日常生活のことについて |
| 11. ^{しょくじ} 食事の ^{ようい} 用意や ^{はいしょく} 配食などのことについて | 12. ^{ざいさん} 財産の ^{かんり} 管理や ^{いさん} 遺産 ^{そうぞく} 相続などについて |
| 13. ^こ 子や ^{まご} 孫の ^{しょうらい} 将来について | 14. ^た その他（) |
| 15. ^{とく} 特に ^{なや} 悩みや ^{ふあん} 不安はない | |

けんこう
★健康についておたずねします。

と
問9 あなたの現在の健康状態についてお答えください。(もっとも近いもの1つに○)

1. たいへん健康である
2. 大した病気や障害もなく普通に生活している
3. 何らかの病気や障害はあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人で行える
4. 何らかの病気や障害があって、生活に誰かの手助けが必要である

と
問10 あなたは、日頃、運動をしていますか。ここで運動とは、1回30分以上の各種スポーツ、体操、ウォーキングなどを指します。(あてはまるもの1つに○)

1. ほぼ毎日、運動をしている
2. 週に3～5日程度、運動をしている
3. 週に1～2日程度、運動をしている
4. 月に数日程度、運動をしている
5. 運動はほとんどしていない

と
問11 あなたは、高齢期の健康づくりや介護予防のために、どのようなことが重要だと思えますか。(特に重要と思うこと5つまでに○)

1. よく歩いたり、運動するなどして身体を鍛える
2. バランスの取れた食生活や栄養摂取に気をつける
3. 規則正しい生活をする
4. 睡眠や休息をきちんととって、疲れをためないようにする
5. 心の健康に気をつける
6. 定期的に健康診断を受ける
7. 身体の不調を感じたら、早めに診察を受ける
8. 歯や口腔の健康に気をつける
9. 健康づくりや介護予防などについて学び、正しい知識を身につける
10. 生きがいや楽しみをもつ
11. 新しいことに挑戦するなど、前向きの気持ちをもつ
12. 近所づきあいや地域活動、趣味のサークルなど、人との交流をもつ
13. 読書をしたり、文章を書いたり、計算をするなど、頭をよく使うようにする
14. その他 ()
15. 特にな

と
問12 あなたは、健康づくりや介護予防に関して、ご自身の日頃の生活習慣(ロコモ予防やメタボ予防など)をどのように思っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 普段から意識をして運動や食生活に気をつけている
2. 意識をしており、もっと改善する必要があると思っている
3. 意識はしているが、自分の年齢で今から気をつけても仕方ないと思う
4. 特に意識をしていない

※ロコモ予防：生活不活発病(身体を動かさないことによる運動機能の低下)を予防する取り組み

※メタボ予防：生活習慣病を予防する取り組み

★高齢期の在宅での暮らし、住み替えなどについておたずねします。

問13 あなたは、日頃、どのような方法で外出していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1. 自動車 (自ら運転) | 2. 自動車 (家族等が運転) |
| 3. バス・電車 | 4. タクシー |
| 5. 福祉移送サービス (介護タクシーなど) | 6. バイク、スクーター |
| 7. 自転車 (電動アシスト付き自転車を含む) | 8. 徒歩 |
| 9. 車椅子、電動車椅子 | 10. その他 () |
| 11. 外出は困難 (寝たきりなど) | |

問14 あなたは、電車やバスなど公共交通機関を利用するときに、最寄りの駅またはバス停まで、片道でのくらい時間がかかりますか。分単位で記入してください。

※コミュニティバスを含みます。

片道 約 分

問15 あなたの現在のお住まいの種類は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 戸建 (持ち家) | 2. 戸建 (賃貸) |
| 3. マンションなどの集合住宅 (持ち家) | 4. マンションなどの集合住宅 (賃貸) |
| 5. その他 () | |

問16 あなたは、将来、介護が必要になった場合に、現在のお住まいから介護サービスが付いている住宅・施設等に住み替えたいと思いますか。(そう思うもの1つに○)

- | |
|-----------------------------------------|
| 1. 介護保険施設 (特別養護老人ホームなど) に入所したい |
| 2. 施設までは考えないが、サービスの付いた住宅があれば住み替えを考えたい |
| 3. 家族の介護を受けられれば今の住宅がよいが、難しい場合は住み替えを考えたい |
| 4. 今の住宅にできるだけ住み続けたい (住み替えは考えない) |
| 5. その他 () |

問17 もし、介護サービスが付いている住宅・施設等に住み替えを考えるとすれば、重視することは何でしょうか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 今住んでいる場所から近いこと |
| 2. 頼りになる人 (子ども、親せきなど) の家から近いこと |
| 3. 家賃などの費用負担が手頃であること |
| 4. 医療機関から近いこと |
| 5. 交通の便や生活の利便性がよいこと |
| 6. 利用したいサービス、質のよいサービスを自由に選べること |
| 7. 緊急時の通報など、いざというときの見守り体制がしっかりしていること |
| 8. その他 () |

問18 将来、介護が必要になった場合に、住み替えずに現在の住宅で生活を続けていこうとしたら、どんなサービスが必要だと思いますか。(必要と思うものすべてに○)

【在宅で受けられるサービス】

1. 夜間や緊急時に利用できる訪問サービス
2. 在宅介護に適した住宅の改修
3. 介護する家族のための健康管理
4. 介護する家族のための専門的な介護研修
5. 介護する家族のための相談窓口の設置
6. 在宅で介護するための補助用品（オムツ等）の支給
7. 在宅で介護するための福祉用具等の貸し出し
8. 移動入浴車などでの訪問による入浴介護
9. 専門家の訪問によるリハビリテーション（機能回復訓練）
10. 買い物を支援するサービス
11. 通院を支援するサービス
12. 食事を配達するサービス

【入所や通所のサービス】

13. デイサービス※1
14. デイケア※2
15. ショートステイのサービス※3
16. 小規模多機能型のサービス※4
17. 状態が悪化したときに緊急で入れる施設
18. 状態が改善するまで数か月単位で入れる施設
19. 認知症対応の通所サービス

【医療サービス】

20. 在宅で受けられる医療サービス
21. 認知症専門の診療
22. 24時間対応できる病院、診療所

【その他のサービス】

23. 高齢者の生活の困りごとなどを手助けする生活支援サービス（問28参照）
24. 地域住民の助け合いや見守り（徘徊の発見、通報など）
25. その他（ ）

※1～※4につきましては、依頼状裏面の補足説明をご参照ください。

★自宅での看取りの考え方などについておたずねします。

問19 現在、わが国では、多くの人が病院で亡くなっていますが、近年、延命治療の是非や、住み慣れた自宅での看取り・最期を迎えることなどについて、関心が高まっています。あなたは、こうしたことについて、関心がありますか。(最も近いもの1つに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. とても関心がある | 2. ある程度は関心がある |
| 3. それほど関心はない | 4. 今はわからない |

問20 あなたは、自宅(または親の自宅等)で、家族を看取った経験がありますか。(いずれか1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問21 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなた自身は、延命治療を望みますか。(最も近いもの1つに○)

- | | | |
|-------|---------|------------|
| 1. 望む | 2. 望まない | 3. 今はわからない |
|-------|---------|------------|

問22 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなた自身は、最期をどこで迎えたいと思われませんか。(最も近いもの1つに○)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 病院で最後までできるだけ治療を受けたい | 2. 設備の整った介護保険施設などで過ごしたい |
| 3. 住み慣れた自宅で過ごしたい | 4. その他(有料老人ホーム、ケアハウスなど) |
| 5. どこでもよい | 6. 今はわからない |

問23 もしも、あなたの親に死期が迫っており、本人の意思確認が難しい状態になったとしたら、あなたはどのように看取りたいと思いませんか。(最も近いもの1つに○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 病院で、延命治療であったとしても、できる限りの治療を受けさせたい |
| 2. 延命治療は望まないが、病院でできる限りの治療を受けさせたい |
| 3. 延命治療は望まないが、設備の整った介護保険施設などで過ごさせたい |
| 4. 延命治療はせず、本人の自宅等住み慣れた場所で過ごさせたい |
| 5. すでに本人から意思を聞いており、それに沿って対応したい |
| 6. その他() |
| 7. 今はわからない |
| 8. すでに親は亡くなっている |

▶ 問24 前の問で「5. すでに本人から意思を聞いており、それに沿って対応したい」と答えた方におたずねします。それはどのような意思ですか。(最も近いもの1つに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 病院で、延命治療であったとしても、できる限りの治療を受けたい |
| 2. 延命治療は受けたくないが、病院でできる限りの治療を受けたい |
| 3. 延命治療は受けたくないが、設備の整った介護保険施設などへ入所したい |
| 4. 延命治療は受けたくないし、最期は住み慣れた自宅等で過ごしたい |
| 5. その他() |

★家族介護の状況などについておたずねします。

問25 あなたのご家族(別居の場合を含みます)で、介護が必要な方(要支援・要介護の認定を受けている方)はおられますか。(あてはまるものすべてに○)

1. いる 2. いない

問26 「1. いる」と答えた方におたずねします。

(1)あなた自身は、その方の介護にどのように関わっていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 主に自分が介護している 2. 他の家族が介護しているのを手伝っている
3. それほど介護には関わっていない

(2)ご家族の中で、その方の介護のために仕事を辞めたり転職された方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分が仕事を辞めた/転職した
2. 自分以外の家族で、仕事を辞めた/転職した者がいる
3. いない

(3)介護で困っていること、感じることなどがありましたらお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 正しい介護の方法、認知症への対応方法などがわからない
2. 本人の希望に沿った介護ができているかわからない
3. 身体的な負担が大きい
4. 精神的な負担が大きい
5. 経済的な負担が大きい
6. 本人にやさしく接することができない、ついつらくあたってしまうことがある
7. 介護を手伝ってくれる人がいない
8. もっと介護サービスを活用したいが、本人が利用したがる
9. もっと介護サービスを活用したいが、利用したいサービスが少ない
10. 施設入所を希望しているが、待機者が多くて利用できない
11. 介護に時間をとられ、他の生活に支障がある
12. 相談先がない
13. その他 ()
14. 特にない

★高齢者の生活支援や介護の仕事に関する考え方などについておたずねします。

問27 あなたは、地域で、高齢者の生活を支援するための事業が運営されることになった場合、そのような事業への参加に興味はありますか。(あてはまるもの1つに○)

事業の例：高齢者が気軽に参加できる地域サロンや運動・介護予防教室などの運営、安否確認などのサービス、外出支援、買い物、調理、掃除などの簡単な家事支援など

※現在、同様なサービスの運営に参加している人も意向をお答えください。

1. ある 2. 現在はないが、リタイア後の参加には興味がある 3. ない

問28 前の問で「1. ある」「2. 現在はないが、リタイア後の参加には興味がある」と答えた方におたずねします。参加する際には、どのような参加の仕方を希望しますか。(あてはまるもの1つに○)

1. ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい
2. 給与等を伴う仕事になるのならば関わってみたい(短時間のパート・アルバイト含む)
3. 事業の立ち上げや運営などにも関わってみたい
4. その他()

問29 あなたは、特別養護老人ホームや老人保健施設など、高齢者の介護やリハビリ等を行う施設で仕事をすることについて、興味はありますか。(あてはまるもの1つに○)

※介護の職場では、介護に関する専門的な資格を必要とする仕事のほか、「介護助手」など短期間の研修で専門的知識や技術を取得できる仕事、利用者の送迎や清掃、食事の準備など資格を必要としない仕事など、さまざまな仕事があります。資格等の有無に関わらず興味をお答えください。

※現在、同様な仕事をされている人も意向をお答えください。

1. ある 2. 現在はないが、リタイア後の仕事として興味がある 3. ない

問30 前の問で「1. ある」「2. 現在はないが、リタイア後の仕事として興味がある」と答えた方におたずねします。どのような働き方を希望しますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 清掃や片付けなど、専門的知識や技術を必要としない仕事
2. 「介護助手」など、短期間の研修で専門的知識・技術を取得してから行う仕事
3. 一般的な介護職員が行う仕事
4. その他()

★介護保険制度などについておたずねします。

問31 介護保険制度やサービスについて、くわしく知りたいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. サービスを受けるための手続き
2. 受けられるサービスの内容
3. 気軽に相談できる窓口
4. 保険料、利用料や算出の仕組み
5. 介護事業所の評判
6. その他()
7. 特になし

問32 介護保険制度では、40～64歳の方の保険料と、65歳以上の方の保険料は異なり、65歳以上になると各市町村で決めた保険料になります。(県平均は月額約6,200円です)
 今後、さらに高齢化が進み、介護保険制度を支えるための負担が増えていくことが予想されます。あなたは、介護保険のサービスと保険料の負担について、どのように考えますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてもらってサービス充実すべき
2. さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない
3. さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない
4. サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くすべき
5. 利用者の負担割合(現状1～2割負担)を上げて、サービスの内容を維持すべき
6. 利用者の負担割合(現状1～2割負担)を上げて、介護保険料を下げるべき
7. その他()

問33 あなたは、判断能力が十分でない高齢者等を対象にした「福祉サービス利用援助」※1や「成年後見制度」※2があることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 内容を知っている
2. 名前は聞いたことがあるが内容は知らない
3. 名前も聞いたことがない

※1、※2につきましては、依頼状裏面の補足説明をご参照ください。

★認知症についておたずねします。

問34 高齢化が進む中で、認知症になる高齢者も増えており、今後も認知症高齢者はさらに増加していくことが予想されます。あなたの身の回りで、認知症の高齢者とのような関わりがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 認知症で介護を受けている同居の家族がいる
2. 認知症で介護を受けている別居の家族がいる
3. 認知症で介護を受けている親せきや友人・知人がいる
4. 近所付き合いのある先に、認知症で介護を受けている人がいる
5. 認知症徘徊者の保護や捜索への参加などの経験がある
6. 仕事などの関係で認知症の人と接したことがある
7. 特にいない

問35 認知症の高齢者や家族介護者などに、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 認知症についての住民の理解促進や啓発活動の充実
2. 認知症の人が参加できる地域のサロン活動や地域の見守り体制の充実
3. 認知症の人を支える専門サービスの充実や認知症に詳しいケア人材の育成
4. 専門家による相談や情報提供体制の充実
5. 認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実
6. 家族介護者向けの交流会や相談窓口の充実
7. 財産管理や財産を守る(悪徳商法被害の防止等)ための支援の充実
8. 認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実
9. その他()

問36 若年性認知症についてお聞きします。あなたは、「若年性認知症」(65歳未満で発症した認知症のこと)という言葉をご存知でしたか。(いずれか1つに○)

1. 知っている
2. 知らない

問37 前の問で「1. 知っている」と答えた方におたずねします。
 (1)あなたの身の回りで、若年性認知症で介護を受けている人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 同居の家族
2. 別居の家族
3. 親せきや友人・知人
4. 近所付き合いのある先
5. 職場の同僚など(退職者も含む)
6. 仕事などの関係で接したことがある
7. 自分自身、診断を受けたことがある
8. 特にいない

(2)若年性認知症は、現役世代で認知症を発症するため、本人の仕事に支障が生じて経済的に困難な状況になる、家族への影響が大きい、高齢者でない人に適したサービスが少ないなど、高齢者の認知症とは異なるいろいろな問題があります。あなたは、若年性認知症の人に、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 若年性認知症の人や家族などが気軽に集い、交流できる場所づくり
2. 若年性認知症に特化した若い人でも利用しやすい介護サービス等の充実
3. 若年性認知症の症状や各種支援、相談窓口などに関する情報提供体制の充実
4. 若年性認知症の早期診断や相談支援などを行うことのできる医療機関の充実
5. 若年性認知症の人が仕事を続けることができるための支援の充実(時短勤務や在宅勤務等の促進、症状に合わせた就労支援等)
6. 若年性認知症の人に対する経済的支援の充実
7. その他()

★質問は以上です。ご回答ありがとうございました。

